

科目コード	R6025	科目名	神経系理学療法学演習				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	甲田 宗嗣・田邊 淳平						
授業の概要	脳卒中以外の中枢神経疾患に関する評価と介入について、実技練習や課題遂行により理解を深める。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	代表的な中枢神経疾患の理学療法の実技を体験する。 代表的な中枢神経疾患を有する症例の評価項目を選定できる。 代表的な中枢神経疾患を有する症例の病態、評価、介入の関連を説明できる。						
履修上の注意事項	実技を行う機会が多いので、動きやすい服装にて受講してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	脊髄損傷の理学療法1 ・関節可動域測定と関節可動域運動【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				関節可動域に関連した基礎知識の復習（60分）	
	2	脊髄損傷の理学療法2 ・筋力増強運動、移乗・その他の動作練習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				筋力増強運動に関連した基礎知識の復習（60分）	
	3	脊髄損傷の理学療法3 ・車椅子操作、駆動練習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				車椅子操作の実技練習（60分）	
	4	運動失調の理学療法1 ・運動失調による座位、立位バランス障害に対する評価と理学療法介入【田邊 淳平】				座位・立位バランスへの評価と介入の復習（60分）	
	5	運動失調の理学療法2 ・運動失調による歩行障害に対する評価と理学療法介入【田邊 淳平・甲田 宗嗣】				歩行障害に対する評価と介入の復習（60分）	
	6	運動失調の理学療法3 ・症例提示から問題点の列挙、理学療法介入を考える【田邊 淳平・甲田 宗嗣】				運動失調患者に対する理学療法介入の予習ICFモデルの予習（60分）	
	7	演習課題の説明、模擬症例の提示（運動失調症例）【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				演習課題作成（60分）	
	8	演習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				文献検索、熟読（120分）	
	9	演習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				文献検索、熟読（120分）	
	10	グループ内発表、相互評価【甲田 宗嗣・田邊 淳平】					
	11	演習課題の説明、模擬症例の提示（パーキンソン病症例）【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				演習課題作成（60分）	
	12	演習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				文献検索、熟読（120分）	
	13	演習【甲田 宗嗣・田邊 淳平】				文献検索、熟読（120分）	
	14	グループ内発表、相互評価【甲田 宗嗣・田邊 淳平】					
15	優秀学生による全体発表【甲田 宗嗣・田邊 淳平】						
成績評価方法	授業内で配布するワークシート、演習課題：100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	プリントを配布						
参考書							
教員からのメッセージ	演習は主体的、積極的に参加すること。						
教員との連絡方法	C-learningを利用してください。						
実務経験のある教員	甲田：回復期リハビリテーション病院で脳卒中、神経難病、脊髄損傷など神経筋疾患の診療実績がある、専門理学療法士（神経、運動器、基礎、教育・管理）、公認心理師、呼吸療法認定士。 田邊：回復期病院で中枢疾患患者を中心にリハビリを経験。中枢疾患患者の病態の一つである運動失調に焦点を当て、根拠と経験から病態、評価方法、理学療法介入について講義を行う。						